

## 平成21年度 特別観察会「コウノトリ」のご案内

県立コウノトリの郷公園では、「コウノトリ」の野生復帰に取り組んでいます。コウノトリの生態や絶滅に至った原因、保護増殖の経緯などを知っていただき、コウノトリの野生復帰について一緒に考えてみませんか。また、園内で見られる放鳥コウノトリなども観察してみましょう。

- ◆日 程：平成21年8月9日(日) 13:00~15:30
- ◆対 象：小学生～一般 \*小学生以下は保護者同伴で申込み願います。
- ◆定 員：30名(申し込み多数の場合は、抽選により決定)
- ◆参 加 料：無料
- ◆申込締切：平成21年7月31日(金)
- ◆申込方法：以下①～⑤を明記したハガキ・FAX・E-mailのいずれかでお申し込みください。
  - ①郵便番号・住所      ②氏名(ふりがな)      ③生年月日
  - ④電話番号              ⑤「コウノトリ」への参加を希望
 \*個人情報は、緊急時の連絡以外に利用することはありません。

## コウノトリ・サイエンスカフェ(鶴見カフェ)のお知らせ

- ◆話題提供者：佐藤 稔(県立コウノトリの郷公園主任飼育員)
- ◆日 時：平成21年7月19日(日) 16:00~17:30
- ◆場 所：サンストークアベニュー内 なごみ茶屋(豊岡市中央町3-37)
- ◆定 員：約25名(申し込みは不要です。当日、会場にお越しください。)
  - ※コーヒー等の飲み物・ケーキ代 500~600円程度が必要です。



## 平成21年度 子どものための野生復帰講座 参加者募集中

\*詳しくは当公園のホームページ内お知らせ欄をご覧ください。

## コウノトリの羽数及び繁殖状況 (H21.6.30現在)

### 1 飼育コウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
県立コウノトリの郷公園	32	36	1	69
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	16	16	1	33
計	48	52	2	102

### 2 飼育コウノトリの繁殖状況

親鳥	育雛状況(羽)		備考
	巣の中		
Lペア 郷公園	1		Tペアのヒナ
Rペア センター	1		Wペアのヒナ
計	2		

### 3 野外にいるコウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
放鳥コウノトリ	8	11		19
昨年までに野外繁殖により増えたコウノトリ	1	5	1	7
今年に野外繁殖により増えたコウノトリ	1	2	2	5
計	10	18	3	31

\*野外の場合は、巣立つまでは羽数に入れておりません。

### 4 放鳥コウノトリ等の繁殖状況

親鳥	卵等の状況(個,羽)							育雛状況(羽)	巣立ちの状況	備考(産卵数)
	巣の中	無精卵	中止卵	破卵	死亡	不明	計			
♂J0275×♀J0228			1		2	2	5	1	1	百合地(ゆるじ)地区人工巣塔 (6卵)
♂J0391×♀J0294					2		2	2	2	戸島(としま)地区人工巣塔 (4卵)
♂J0405×♀野生個体				10			10			コウノトリの郷公園繁殖ケージ屋根(10卵)
♂J0001×♀J0362				1			1	1	2	保護増殖センター前電柱上 (4卵)
♂J0381×♀J0296	1						1	3		伊豆(いず)地区人工巣塔 (4卵)
♂J0389×♀J0384		1				3	4			赤石(あかいし)地区人工巣塔 (4卵)
計	1	1	1	11	4	5	23	4	5	(32卵)

問い合わせ先  
兵庫県立コウノトリの郷公園  
〒668-0814 豊岡市祥雲寺字ニヶ谷128番地  
TEL: 0796-23-5666  
FAX: 0796-23-6538

E-mail: kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp  
URL: http://www.stork.u-hyogo.ac.jp  
開園時間: 9:00~17:00  
休園日: 毎週月曜日(休日に当たるときはその翌日)・12月28日~1月4日

# いきもの通信

No.143

兵庫県立コウノトリの郷公園  
Hyogo Prefectural Homeland for the Oriental White Stork  
平成21(2009)年6月30日編集  
平成21(2009)年7月10日発行

## 今年(ことし)の繁殖は…PART③

6月は百合地地区人工巣塔に引き続き、2ヶ所で巣立ちがありました。その様子をお知らせします。

### 戸島地区人工巣塔

巣内(すない)にいるヒナ2羽が、雄(おす)キング青(キングアオ)と雌(めす)マーキング橙(マーキングダイオウ)であることは前号でお伝えしました。その2羽ですが、6月に(は)入り巣の上でのジャンプの回数が増え、高さも高くなり、巣立ち(すた)へ向けて着実に準備(じゆんび)をしていました。



写真1 J0013 オス(右脚:黒、左脚:黒赤青) 写真2 J0014 メス(右脚:黒、左脚:黒赤緑)

6月9日午前6時38分に人工巣塔から雌のヒナが巣立ちました。さらに、6月11日午前6時21分に雄のヒナが巣立ちました。これで、この巣塔からは2年連続の巣立ちとなりました。

巣立った幼鳥(ようちよう)たちには足環(あしわ)の装着(そうちやく)と身体計測(しんたいけいそく)を行う必要があるため、巣立つ以前(いぜん)から巣塔(すた)の南東(なんとう)に仮設(かせつ)ケージを設置(せつち)し、給餌(きゅうじ)を続けていました。そして、6月18日午前6時46分ケージに入ってきた2羽の幼鳥(ほかく)を捕獲(とくわく)し、足環(あしわ)の装着(そうちやく)と身体計測(しんたいけいそく)を行いました。体重(たいじゆう)はJ0013が5.4kgで、J0014が4.75kgあり、2羽とも順調(じゆんじよう)に成長(せいじよう)していることが判(わか)りました。作業終了(さぎようしゆうりようご)後(ご)、解放(かいはう)すると再び(ふたたび)大空(おおぞら)へ舞(ま)っていきました。



写真3 再び大空へ解放する様子

### 保護増殖センター前電柱の上

この巣内(すない)では、6月上旬(げんき)に3羽(そだ)のヒナが元気に育(か)っている様子(か)を確認(かくにん)していました。やがてヒナ達(たち)は、羽ばた(た)いたりジャンプ(かえ)を繰り返(くりか)すようになりました。

6月19日(にち)から戸島地区(とうよう)と同様(どうよう)に保護増殖センター(きよてん)内の拠点(きょてん)にて、給餌(は)を始めています。



写真4 巣立ちした2羽が採餌している様子

6月下旬(げじゆん)には、よい天気(てんき)が続(つ)き親鳥(おやどり)が交互(こうご)で嘴(くちばし)に水(みず)を溜(た)めて巣(す)に持ち帰(かえ)り、ヒナ達(たち)に水(みず)を飲(の)ませている様子(か)も見(み)られました。この親鳥(おやどり)は、昨年(さくねん)1羽(ひ)のヒナを巣立(すた)させたのですが、今年(ことし)は3羽(ひ)のヒナを育(か)ててい(い)ることもあ(あ)り、次々(つぎつぎ)と巣立(すた)っていくこと(こと)を楽し(たの)しみにして(して)いました。

6月29日(にち)最初(さいしよ)の1羽(ひ)が午前(ごぜん)5時(じ)以前(いぜん)に巣立(すた)ち、さら(さら)にもう1羽(ひ)が午前(ごぜん)6時(じ)8分(ぶん)に巣立(すた)ちました(写真4)。残り(のこり)の1羽(ひ)も近(ちか)いうち(うち)に巣立(すた)つと予測(よそく)して(して)います。